

会員事業場における労働災害（休業4日以上）

－ 令和3年1～6月 －

令和3年1～6月の半年間に、全国の会員事業場で発生した休業4日以上¹の死傷災害のうち、各総支部から報告があった64人（前年同期85人と比較すると24.7%減少、前々年同期82人と比較すると22.0%減少）について集計した結果は、以下のとおりである。

1 総支部別

前年同期に比べると、8総支部が減少している。

総支部	H29	H30	R1	R2		R3	
				1～6月	1～6月	1～6月	1～6月
北海道	6	5	6	2	12	7	4
東北	2	4	7	4	4	4	2
日本海	7	10	12	6	8	4	6
千葉	-	3	-	-	1	-	1
東京	3	2	12	3	4	4	2
神奈川	24	26	28	16	35	17	11
東海	21	22	29	16	27	14	11
大阪	16	9	15	6	15	9	8
兵庫県	18	14	14	10	11	7	5
中国	3	5	4	3	8	7	1
四国	-	1	1	1	1	1	1
九州	20	22	22	15	16	10	10
沖縄	7	2	6	-	3	1	2
計	127	125	156	82	145	85	64

2 雇用形態別

「常用」が9割を超えている。

雇用形態	H29	H30	R1	R2		R3	
				1～6月	1～6月	1～6月	1～6月
常用	108	114	134	73	132	78	60
派遣	-	-	-	-	-	-	-
日雇	19	11	22	9	13	7	4
計	127	125	156	82	145	85	64

3 年齢階層別

前年同期に比べると、「30歳未満」のみ増加している。

年齢階層	H29	H30	R1	1～6月	R2	1～6月	R3 1～6月
30歳未満	25	18	23	8	21	10	13
30～39歳	24	36	36	22	39	21	16
40～49歳	36	27	49	28	40	25	17
50～59歳	29	28	30	14	32	19	14
60歳以上	13	16	18	10	13	10	4
計	127	125	156	82	145	85	64

4 月別

前年に比べると、「1月」が大きく減少している。

月	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
1月	14	10	12	9	20	19	7
2月	11	12	9	14	15	19	13
3月	16	10	12	8	18	13	12
4月	11	5	6	13	6	13	10
5月	12	9	11	12	12	7	11
6月	14	11	7	7	11	14	11
7月	7	14	16	13	14	6	
8月	12	9	11	8	16	14	
9月	11	8	11	9	14	8	
10月	11	13	11	11	8	10	
11月	9	8	13	11	15	10	
12月	13	8	8	10	7	12	
計	141	117	127	125	156	145	64

5 曜日別

前年同期に比べると、「金曜日」のみ増加している。

曜日	H29	H30	R1	R2		R3	
				1~6月	1~6月	1~6月	1~6月
日	2	12	7	5	2	2	2
月	25	11	23	10	33	20	19
火	17	23	16	10	14	11	9
水	26	20	32	16	27	14	9
木	25	26	24	14	27	16	7
金	21	19	27	14	25	12	14
土	11	14	27	13	17	10	4
計	127	125	156	82	145	85	64

6 時刻別

前年同期に比べると、主に「12時台」～「14時台」及び「19時台」が増加している。

時刻 (～時台)	H29	H30	R1	R2		R3	
				1~6月	1~6月	1~6月	1~6月
5時	3	-	-	-	-	-	-
6時	-	2	1	1	-	-	1
7時	3	1	5	4	1	-	2
8時	12	9	16	7	11	9	6
9時	20	18	19	9	22	9	6
10時	10	18	20	9	19	10	7
11時	10	17	16	6	17	10	3
12時	1	-	6	4	2	2	4
13時	10	8	13	5	8	5	6
14時	15	9	15	10	15	8	10
15時	11	13	15	8	10	7	4
16時	6	3	11	7	11	9	5
17時	5	5	3	1	3	3	1
18時	6	1	4	1	3	2	-
19時	4	1	1	1	2	-	3
20時	4	3	-	-	2	1	1
21時	3	3	1	1	3	-	-
22時	1	6	-	-	1	1	1
23時	1	2	3	2	6	3	-
24～4時	2	6	7	6	9	6	4
計	127	125	156	82	145	85	64

7 業種別

前年同期に比べると、主に「船内」が大きく減少している。

業種	H29	H30	R1	R2		R3	
				1～6月	1～6月	1～6月	1～6月
船内	43	46	66	39	55	37	24
沿岸	64	47	62	32	55	31	29
はしけ等	1	2	3	3	3	2	1
検数等	1	6	9	3	5	3	1
関連	11	17	11	5	16	8	4
その他	7	7	5	-	11	4	5
計	127	125	156	82	145	85	64

8 作業職種別

前年同期に比べると、「運転者」のみ増加している。

作業職種	H29	H30	R1	R2		R3	
				1～6月	1～6月	1～6月	1～6月
船内荷役作業主任者	2	3	-	-	1	1	1
フォアマン	1	1	3	1	1	1	-
沿岸荷役主任者	1	-	-	-	-	-	-
運転者	6	7	14	9	9	5	10
合図者	8	8	7	4	6	3	2
玉掛け者	12	8	12	5	12	8	3
検数員等	1	6	8	3	3	1	1
ラッシャー	6	9	9	5	9	6	1
清掃	1	-	1	1	-	-	-
作業者	81	80	95	53	100	57	45
その他	8	3	7	1	4	3	1
計	127	125	156	82	145	85	64

9 事業場規模別

前年同期に比べると、主に「1～49人」が大きく減少している。

規 模	H 2 9	H 3 0	R 1	R 2		R 3	
				1～6月	1～6月	1～6月	1～6月
1～49人	57	45	51	28	60	33	23
1～9人	(8)	(11)	(2)	(2)	(10)	(4)	(-)
10～29人	(22)	(18)	(23)	(14)	(26)	(15)	(11)
30～49人	(27)	(16)	(26)	(12)	(24)	(14)	(12)
50～99人	28	28	39	20	28	21	14
100～299人	33	43	56	27	49	28	26
300人以上	9	9	10	7	8	3	1
計	127	125	156	82	145	85	64

10 経験年数別

前年同期に比べると、主に「1年未満」が大きく減少している。

経験年数	H 2 9	H 3 0	R 1	R 2		R 3	
				1～6月	1～6月	1～6月	1～6月
0～9年	62	49	67	29	73	43	24
1年未満	(18)	(12)	(18)	(6)	(27)	(17)	(2)
1～4年	(26)	(22)	(26)	(12)	(27)	(13)	(15)
5～9年	(18)	(15)	(23)	(11)	(19)	(13)	(7)
10～19年	29	40	36	20	27	13	19
20～29年	19	22	36	20	29	20	17
30年以上	17	14	17	13	16	9	4
計	127	125	156	82	145	85	64

11 事故の型別

前年同期に比べると、主に「転倒」及び「動作の反動等」が大きく減少している。

事故の型	H29	H30	R1	R2		R3	
				1～6月	1～6月	1～6月	1～6月
墜落, 転落	34	34	56	31	42	23	20
転倒	15	20	22	14	20	15	8
激突	7	5	5	-	3	1	3
飛来, 落下	7	10	6	4	12	6	5
崩壊, 倒壊	5	3	6	2	8	5	3
激突され	9	6	7	4	12	8	7
はさまれ, 巻き込まれ	35	35	36	19	29	13	13
切れ・こすれ	-	1	3	1	1	1	1
交通事故・ 火災等	1	-	3	2	-	-	-
動作の反動等	11	7	10	4	13	9	4
その他	3	4	2	1	5	4	-
計	127	125	156	82	145	85	64

12 起因物別

前年同期に比べると、「物揚げ装置等」及び「環境等」が増加している。

起因物	H29	H30	R1	R2		R3	
				1～6月	1～6月	1～6月	1～6月
動力機械	3	2	6	2	2	1	1
物揚げ装置等	31	33	46	20	31	15	19
その他装置等	11	10	18	10	21	12	7
仮設物, 建物等	19	32	26	14	31	19	12
物質, 材料	7	7	15	11	10	8	3
荷	26	24	24	17	35	17	17
環境等	4	5	4	2	3	2	4
その他	26	12	17	6	12	11	1
計	127	125	156	82	145	85	64

13 船型別

災害発生に船がかかわった 34 人を見ると、前年同期に比べ、主に「コンテナ船」が大きく減少している。

船	H29	H30	R1	R2		R3	
				1～6月	1～6月	1～6月	1～6月
コンテナ船	23	29	29	13	35	23	14
RO/RO船	4	5	4	4	9	7	3
在来船	28	28	52	33	26	16	13
はしけ	1	1	6	5	3	2	2
その他	15	10	13	-	2	2	2
計	71	73	104	55	75	50	34

14 関連機械別（機種別）

災害発生に機械がかかわった 34 人を見ると、前年同期に比べ、主に「ガントリークレーン」及び「その他」が大きく減少している。

関連機械	H29	H30	R1	R2		R3	
				1～6月	1～6月	1～6月	1～6月
揚貨装置	5	5	11	9	5	4	5
天井クレーン	2	1	3	3	3	3	-
ガントリークレーン	5	9	11	4	13	9	5
トランスファークレーン	2	1	-	-	-	-	-
移動式クレーン	9	9	24	12	12	4	4
フォークリフト	25	28	25	11	24	12	10
ストラドルキャリアー	-	2	1	-	-	-	1
ショベルローダー	1	2	1	-	2	2	-
ブルドーザー	-	1	2	1	2	1	-
フォークローダー	-	-	-	-	-	-	-
トレーラー	5	6	6	4	4	4	3
上記以外のクレーン	-	-	-	-	-	-	-
その他	24	23	25	14	24	15	6
計	78	87	109	58	89	54	34

15 品名（貨種）別

災害発生に荷がかかわった 39 人を見ると、前年同期に比べ、主に「鋼管・鋼材」が大きく減少している。

品名（貨種）	H29	H30	R1	1～6月	R2	1～6月	R3 1～6月
原木	2	2	1	1	-	-	1
製材	3	2	3	2	-	-	1
合板	1	-	3	2	-	-	-
車	2	6	4	2	6	4	2
鋼管・鋼材	14	19	18	9	18	10	4
バナナ	-	1	2	1	1	1	-
くず鉄	1	-	2	2	1	-	1
冷凍魚	-	1	-	-	1	-	-
鉱石	1	2	1	1	1	1	-
石炭	1	2	11	7	3	3	1
チップ	-	4	-	-	1	1	-
雑貨類	3	6	6	6	2	1	1
原糖	1	-	-	-	-	-	-
飼料	1	1	5	2	2	1	1
ロール紙	-	4	1	-	1	-	-
穀物	5	3	4	1	10	6	2
その他	15	47	59	29	48	29	25
計	74	100	120	65	95	57	39

16 荷姿別

災害発生に荷がかかわった 39 人を見ると、前年同期に比べ、主に「棒物」「ばら物」及び「箱物」が大きく減少している。

荷姿	H29	H30	R1	1～6月	R2	1～6月	R3 1～6月
素材「裸」	4	3	15	7	7	3	2
袋物	6	7	12	5	10	4	3
ボール	-	2	-	-	2	1	-
棒物	3	8	7	3	8	6	1
束物	11	8	8	5	5	2	3
ばら物	9	13	19	12	12	11	7
箱物	10	5	8	6	8	6	2
缶物	1	2	1	1	-	-	-
コンテナ	26	26	32	17	30	16	13
車	3	7	5	2	6	4	1
その他	17	19	18	8	19	10	7
計	90	100	125	66	107	63	39

港湾貨物運送事業における労働災害（休業4日以上）の推移

(単位：人)

年	労働災害 防止計画	厚生労働省調べ		協会調べ（会員事業場のみ）	
			死 亡		死 亡
昭和39年	第2次	13,347	133	不明	不明
49年	第4次	9,230	79	〃	〃
59年	第6次	2,387	33	2,015	29
63年	第7次	1,396	29	1,196	27
平成元年		1,275	26	1,131	21
2年		1,103	28	950	22
3年		1,034	29	855	27
4年		946	22	832	13
計		5,754	134	4,964	110
平成5年	第8次	826	16	691	14
6年		735	15	641	15
7年		672	20	578	19
8年		590	28	488	20
9年		589	17	464	14
計		3,412	96	2,862	82
平成10年	第9次	463	19	358	12
11年		411	10	330	7
12年		388	11	315	10
13年		406	18	331	12
14年		389	15	308	15
計		2,057	73	1,642	56
平成15年	第10次	348	12	254	9
16年		334	10	230	9
17年		323	11	231	8
18年		298	14	196	11
19年		307	9	198	8
計		1,610	56	1,109	45
平成20年	第11次	290	9	204	9
21年		228	10	147	7
22年		219	5	159	5
23年		245 363*	10	179	5
24年		344*	5	156	4
計		1,444*	39	845	30
平成25年	第12次	296	6	151	3
26年		349	5	158	2
27年		284	8	141	5
28年		286	10	117	7
29年		331	8	127	3
計		1,546	37	694	20
平成30年	第13次	330	4	125	3
令和元年		376	7	156	7
令和2年		330	4	145	4
1～6月		150	1	85	2
令和3年1～6月		153	1	64	0

注) 1 厚生労働省の死傷数は労災保険給付データ及び労働者死傷病報告であったが、平成24年より労働者死傷病報告のみを用いている（*印/前年との比較のため、平成23年も同様である。）。

2 昭和39年の死傷者数は、休業8日以上のもの。

